



南アフリカにお住まいの皆様及び旅行者の皆様へ

【タイトル】

停電等への備え

【ポイント】

● 日頃から、停電等により急に困難な状況に置かれる事態を想定して、生活及び安全面の対策を検討し、あらかじめ備えるようにしてください。

【本文】

1 南アフリカにおける停電は一時期よりも少なくなりましたが、引き続き停電は各地で発生しています。最近では、2月23日、南アフリカ電力公社（ESKOM）は、複数の発電機の故障等を受け、ステージ6の計画停電を実施しました。その後、計画停電のステージは段階的に引き下げられています。

2 停電等により、急に次のような状況が発生する可能性があります。

- ・ 通信障害/通信途絶
- ・ 断水、下水機能の停止
- ・ 食料品、日用品の供給不足
- ・ 調理器具その他家電製品の利用不能
- ・ カード決済停止、ATM機停止
- ・ 公共照明や信号機の停止
- ・ 交通渋滞、交通混乱、交通機関の運休（空港を含む）
- ・ 発電機用軽油（ディーゼル）、ガソリンその他の燃料の不足
- ・ 住宅・会社内の警備機器の停止
- ・ 治安の悪化（犯罪等）
- ・ 医療サービスにおける障害（救急車の手配等への影響を含む）

3 つきましては、日頃から、上記のような事態の発生を想定して、生活及び安全面の対策を検討し、あらかじめ備えるようにしてください。こういった備えの多くは、停電のみならず、断水、自然災害その他の事態においても役立つものと考えられます。

- （1）家族や職場において、長い停電時の際の行動計画を事前に検討し決めておく（子供が学校にいるときなど、家族が別々の場所にいる時に発生した場合の行動計画を含む。）。
- （2）停電等に関する情報をアプリ、ニュース（インターネット、テレビ、ラジオ



在南アフリカ共和国日本国大使館
Embassy of Japan in South Africa

等）等を通じて入手する。

- (3) 懐中電灯、充電式ランプ、電池、充電器（バッテリー）等を用意しておく。
- (4) 長期保存可能な食品（調理不要なものを含む。）、飲料水、日用品を備蓄する。
生活用水のため置きをする。
- (5) 常備薬、処方薬をやや多めに備えておく。近隣の医療機関の場所を確認しておく。
- (6) 早めに車に給油する。発電機用軽油（ディーゼル）等を用意する。
- (7) 現金、旅券等貴重品をすぐに持ち出せるよう整えておく。
- (8) 大切な連絡先等を紙媒体でも記録・携帯しておく。
- (9) 発電機能を備え、安全が確保できそうな場所を事前に調査しておく。
- (10) 旅行者は、停電時に一旦宿泊先のホテル等に戻るなど安全を確保する。旅行前に「たびレジ」に登録しておく。

【問い合わせ先】

在南アフリカ日本国大使館

HP : http://www.za.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

住所 : 259 Baines St, Cnr Frans Oerder St, Groenkloof, Pretoria

電話 : +27 12 452 1500 領事・警備

※「たびレジ」簡易登録をされた方でメールの配信を停止したい方は、以下のURLから停止手続きをお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>